

科目名	【朝日大学】法思想史B
開設学校名	朝日大学
講師	法学部 准教授 岡崎 修（おかざき おさむ）
初回予定日	2016/09/26
授業時間	毎週月曜日 3時限目（13：10～14：40） 全15回
主会場	朝日大学 穂積キャンパス 6号館 6506講義室
聴講方法	対面授業
科目内容	<p>19世紀末から20世紀初めのアメリカでは、とりわけ労働契約に関連し、この契約自由の原則を巡って、自由を優先するか、それともその規制を容認するかが、法律上の重要な争点になりました。こうした中で、20世紀の初めにある事件を巡り最高裁が下した判決を契機に、後にこれが熾烈な法解釈論争へと発展しました。</p> <p>この講義では、日本の民法における解釈技法の諸問題も取り上げながら、アメリカにおけるこの論争を通じ、法の解釈とはどのような知的作業なのかを見てゆきます。</p>
注意事項	<p>高校生は受講できません。</p> <p>12月29日から翌年1月5日までは、冬季休業期間です。</p>

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
1	2016/9/26	「権利が発生する」とはどういう意味か？
2	2016/10/3	矛盾なき法理体系：その狙いは何か？
3	2016/10/17	ドイツにおける概念法学の隆盛：形式主義
4	2016/10/24	アメリカの自由労働運動：開放の論理
5	2016/10/31	資本主義の発展と労働者の出現
6	2016/11/7	契約自由の原則はどこに問題があるか
7	2016/11/14	法の解釈は科学か（ロックナー対ニューヨーク事件）
8	2016/11/21	小テスト
9	2016/11/28	プラグマティズム法学とは？
10	2016/12/5	法は紛争解決の一手段
11	2016/12/12	コーヒーで火傷して賠償金3億円！？
12	2016/12/19	法の事実はありのままの事実か？
13	2016/12/26	ジェローム・フランク：「事実とは裁判官が事実と思うもの」
14	2017/1/16	法律家は三段論法に従ってものを考えるか？
15	2017/1/23	戦後の日本における法解釈論争